

八ヶ岳 地獄谷川俣尾根 2017年1月21,22日  
メンバー ; L谷内、宮坂、倉澤、久保

硬雪の上に積もった先週末の大雪による雪崩のリスクを考慮し、当初の計画を変更し尾根筋ルートとして三ツ頭から地獄谷出合小屋に伸びてきている川俣尾根に行ってきました。地獄谷は夏、冬通じて何度も足を運んでいます。川俣尾根は入ったことなく情報も少なく機会があれば歩いてみたいと思っていた尾根でした。予想どおりトレースなくペナント2か所と鉤目1か所のみと人くささのない静かなルートで技術的困難度はないものの八ヶ岳ではめずらしいラッセルを堪能できるルートでした。

1/21 小雪、時々晴れ間

AM6時茅野発・天女山登山口に車1台デポ・7:05 美し森駐車場～7:30 発・先行3人組のラッセルに助けられるものの時間を要し10:30 出合小屋。赤岳沢出合を分け尾根末端の岩壁帯を巻き終えたあたりから尾根に取り付く。尾根上に乗った後は粗い針葉樹林の間をひたすら直上ラッセルあるのみ。傾斜により膝上程度。地形図上尾根の合流する2300m地点でようやくテンバに適した小平坦地となる。PM1:50で終了としここにテンバ設営。その後明日に備えてトレースづけを行う。テンバからしばらくでヤセ尾根となり左手が切れ落ち小さな雪庇も形成されている。その後股くらいまでのラッセルの後2400m 切り開き状平坦地に到着し慰霊碑を確認。旭東稜、権現東稜の核心部がいままでとは違う見え方で眺められ感激。2450m あたりで終了としテンバに戻り一日の疲れをいやす。

1/22 くもり、風強し

AM5:30 発・トレースなくなった後は腰までのラッセルに苦しめられ7:10 ようやくという感じで三ツ頭頂上ちょい先の稜線縦走路に出て強い西風の出迎えをうける。空身で権現ピストンに向かうも雪深くトレースなくもうラッセルは充分ということで途中終了とし8時すぎ下山開始。三ツ頭から先は昨日つけられたトレースあり、ありがたく使わせてもらい10:30 天女山登山口帰着。美し森の車回収後もみの湯に向かった。